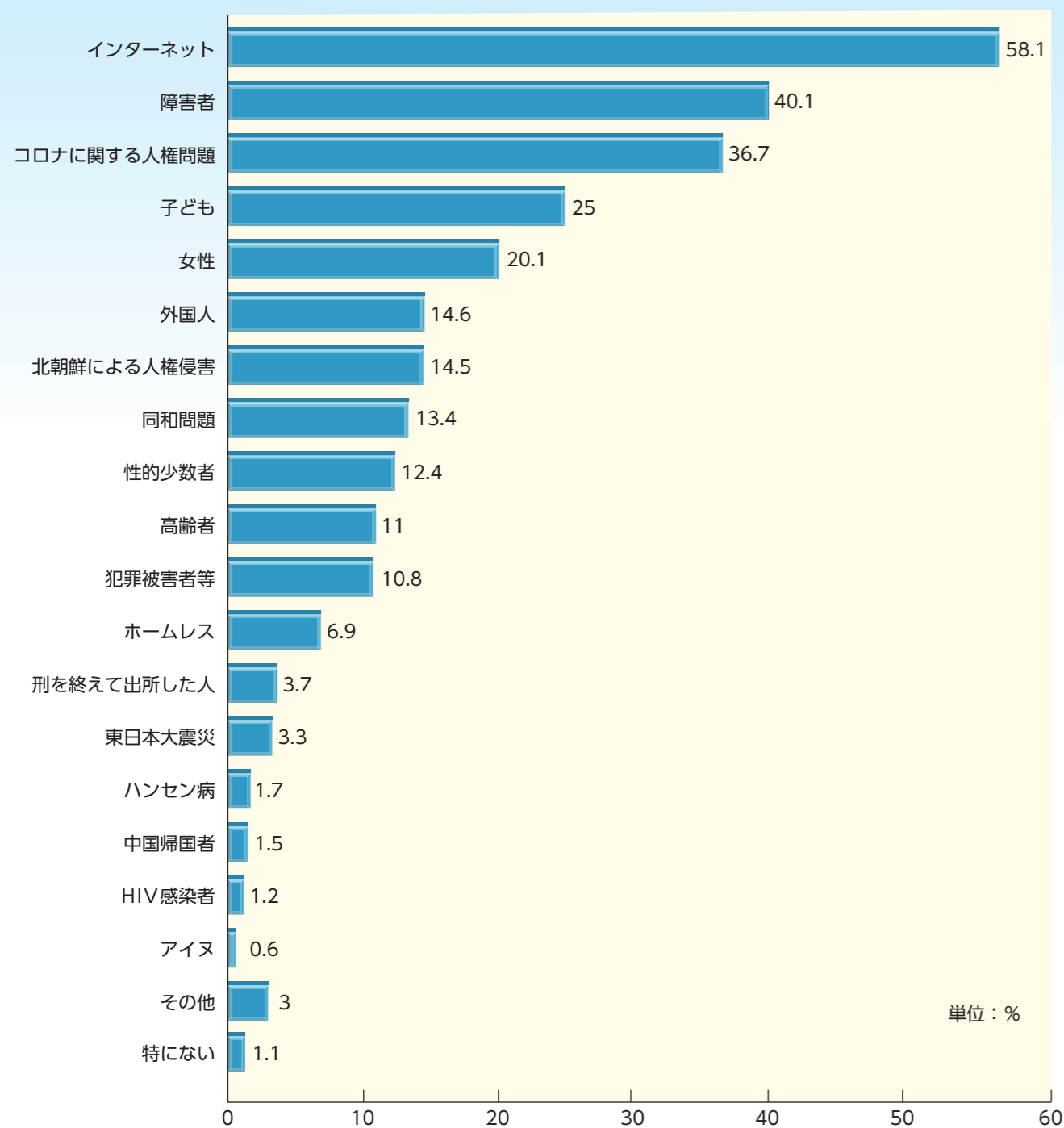


考えてみましょう

下のグラフは 2021 年に長野市が実施した「人権に関する市民意識調査」の中の1つで、「次の人権課題の中で、切実と思われるものを3つ以内で選んでください」の質問に対して、それぞれの人権課題を選択した人の割合を示したものです。この結果について、次の点から考えてみましょう。

- (1) それぞれの人権問題について、どのようなことが話題になったでしょうか。
- (2) インターネットや障害者、コロナに関する人権、子ども、女性などを選んだ人が多かったのは、どのような理由からでしょうか。



「人権を尊び差別のない明るい長野市を築く条例」より

長野市は部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくしていくことを願い、この条例を制定しました。

- 目的
第1条 この条例は、すべての国民の基本的人権の享有及び法の下での平等を保障する日本国憲法の理念並びに部落解放都市宣言の精神にのっとり、人権意識の高揚を図ることにより、部落差別等あらゆる差別のない明るい長野市を築くことを目的とする。
 - 市の責務
第2条 市は、前条の目的を達成するため、必要な施策を積極的に推進するものとする。
 - 市民の責務
第3条 市民は、相互に基本的人権を尊重し、前条の規定により市が実施する施策に協力するとともに、自らも差別及び差別を助長する行為をしないよう努めなければならない。
 - 教育及び啓発活動の充実
第4条 市は、国、県及び関係団体と連携し、市民の人権意識の高揚を図るための教育及び啓発活動を積極的に推進するものとする。
- (1996年7月1日 施行)

「長野市人権政策推進基本方針」に挙げる人権課題

2013年2月に策定された「長野市人権政策推進基本方針」では、取り組むべき人権課題として、次のものをあげています。

- 同和問題 ●女性 ●子ども ●高齢者 ●障害者 ●外国人
- HIV感染者・ハンセン病患者等 ●犯罪被害者等
- 様々な人権に関する問題
 - ・刑を終えて出所した人等 ・中国帰国者等 ・性的指向及び性同一性障害（性的少数者） ・ホームレス
 - ・アイヌの人々 ・北朝鮮当局による人権侵害（拉致問題等） ・暮らしの中に潜む様々な人権問題
- インターネットによる人権侵害

人権ながの

令和5年度版



令和4年度 人権啓発ポスター・標語コンクール 小学生・中学生の部 最優秀賞作品

●●● お問い合わせは ●●●

長野市 地域・市民生活部
人権・男女共同参画課
TEL026 (224) 5032



令和4年度 人権啓発ポスター・標語コンクール 一般の部 最優秀賞作品



長野市



差別や人権侵害をなくすために



差別や人権侵害は、下のような流れによって
引き起こされると考えられます。

無知、無関心、無理解 などが

誤った知識により、大勢に流され、当事者に思いを寄せぬことになり、

それが **差別や人権侵害** につながります。

身近にある様々な差別や人権侵害

差別や人権侵害をなくしていくためには、今起きている人権の問題を正しく知ることが大切です。

今もある部落差別 (同和問題)

結婚差別やインターネットに出回る悪意に満ちた同和問題に関する書き込みなどにより、つらい思いをしている方々があります。

- 2016年施行の部落差別解消推進法では
部落差別の解消が重要な柱であるとして、
教育や啓発の大切さを指摘しています。
- 私たち一人一人には
この問題を正しく知り、うわさやデマ
に惑わされず判断し、行動する力が求め
られます。



女性が活躍する社会は未だ… (女性)

男女平等が実現できているかを示す指数で、2022年日本は世界146か国中、116位でした。

- 国や県、長野市は男女共同参画の計画を推進
社会情勢が変化し、男女共同参
画社会の実現はより重要です。
- 女性活躍社会がめざすもの
誰もが自分らしく生きられる社
会をみんなで築きましょう。



ヤングケアラー本人の気持ちを大切に… (子ども)

大人に代わって日常的に家事や家族の世話をする18歳未満の子どもの中には、様々な負担から進学をあきらめたりするケースもあります。

- 2022年実施の長野県ヤングケアラー実態調査では
「世話をしている家族がいる」と答えた小学5、
6年生は11.6%、中学2年生は6.3%いました。
- 周囲の見守りが大切です
子ども自身や家族が相談しやすい雰
囲気づくりが求められます。



増加傾向にある家庭での虐待 (高齢者)

家庭の中で抱え込んでしまうことが背景にあります。

- 高齢者虐待防止と養護者を支援する
「高齢者虐待防止法」
「虐待かもしれない」状況でも通
報でき、守秘義務により通報者は
守られます。
- 虐待を防止するためには
周囲の「見守り」と「気づき」
が虐待の早期発見と早期対応につ
ながります。



壁を取り除くのは社会の責務 (障害者)

障害の克服は「本人の努力を求める」のではなく、「障壁をつくる社会がそれを取り除く責務がある」に変わりました。

- 障害者差別解消法、2016年に施行
障害者が活躍できる社会にしようとする考えが反映
されています。
- 一人一人が心掛けたいこと
障害者の立場に立って
考え、私たちが主体的に
関わっていきましょう。



変わりゆく外国人労働者の環境 (外国人)

低賃金、過酷な労働環境、不法就労や在留資格の問題が起きています。

- 厚労省・経産省が研修や技能実習制度の見直しを提言
2019年施行の「技能実習生の保護に関する法律」は
ありますが、外国人労働者を取り
巻く環境は厳しくなっています。
- 人権を守るために
労働・人権問題に関心を持って
見守っていきましょう。



国の誤った政策により (ハンセン病患者等)

1996年まで患者の隔離政策が続き、患者や家族が差別されました。

- 2019年、ハンセン病家族訴訟で原告勝訴
判決文には、偏見差別の是正を含む
人権教育の大切さが述べられています。
- 過ちを繰り返さないために
多くの人が、誤った理解により、患者
やその家族を差別してきたことを忘れて
はなりません。



突然遭った犯罪被害により (犯罪被害者等)

被害者は心身面や経済面などで多くの被害を受けます。

- 2022年4月施行の長野県犯罪被害者等
支援条例では
犯罪被害者等の早期回復と生活の再
建、権利の保障などを図ります。
- 私たち一人一人には
犯罪被害者等が置かれている状況の
理解を深めることが求められます。



誰もが生きやすい世の中へ (性的少数者)

性的少数者に対する理解(共感)が得られず、傷ついたり悩んだりしている人がいます。

- パートナーシップ宣誓制度
性的少数者の方を含む二人が、お
互いを人生のパートナーとして宣誓
する制度を2022年12月1日に導入しました。
- 性のあり方は人それぞれ
肌の色や瞳の色と同じように、性のあり方もその
人に備わったかけがえのない個性です。



増えるSNSによる誹謗中傷 (インターネット)

特定の個人に対して誹謗中傷等をする事例が増加しています。

- 「改正プロバイダー責任制限法」と「侮辱罪の厳罰化」
2022年から施行されたこれらの法
律により、無責任な誹謗中傷等の投稿
がなくなることが期待されます。
- 送信する前に
書かれた内容により、受け取る人が
どんな思いになるか、想像力を働かせ
ることが大切です。

